

第11回“夢ブック”読書感想文コンクール入賞作品

(感想文は、原文のまま掲載しております。)

『夢』いっぱい賞(最優秀賞)

南野上小学校 浦野 瑞 (うらの みずき)

絵本: よつばのおはなし

「よつばのおはなし」をよんで

うらの みずき

まえにおかあさんによつばをみつけるといいことがあるといわれたので、このほんをよもうとおもいました。

このほんをよんでみると、よつばのこは、みんなとおなじとおもっていたのに、きみだけちがうといわれて、わたしはかなしいきもちになりました。わたしは、どんなはっばでもいいのにとおもいました。どうして、はっばがみんなちがうのか、ふしぎにおもいました。かんがえてみると、にんげんでもひとりひとりちがうのがわかりました。もんしろちょうが、よつばのはっばを、みんなとちがうけれど、かわいいといってくれた。どんなふうにしがっていても、いいところをみつけてあげるのがいいとおもいました。

じぶんだけちがっていても、じぶんのいいところをみつけて、すきになりたいです。



『夢』どきどき賞(優秀賞)

黒江小学校 康原 颯太(やすはら ふうた)

絵本: ぼくだけが知っているヘンテコなきかいのしくみ

「ヘンテコなぼくだけが知っているきかいのしくみ」をよんで

やすはら ふうた

ぼくは、このほんをよんで、すごいなあとおもいました。

なにがすごいとおもったというと、トイレのしくみについてかいているぶぶんです。

ぼくのいえのトイレとおんなじなので、そうぞうしてうれしかったです。

おかあさんにきくと、ほんとうは、なかにひとがすんでいないし、きかいがうごかしているんだよといわれて、すこししょくでした。

ぼくは、このほんのかんがえかたがすきだし、ぼくのすいとうもおなじように、なかにひとがすんでいてつめたいおちやがのめるとおもったらたのしくなってきた。

これからも、クーラーやパソコンなどで、いろんなそうぞうをふくらませたいとおもいました。

『夢』どきどき賞(優秀賞)

中野上小学校 田村 春太 (たむら はるた)

絵本: ねこのえきちょうさん たま

「ねこのえきちょうさん たま」をよんで

たむら はるた

ぼくは、このほんをよんで、おしごとでひとをしあわせにしてみたいとおもいました。たまちゃんは、みまもることでしあわせにしているようでした。こどもには、あくびをしてあげていました。こどもは、かわいいなとおもっていそうでした。

ぼくは、たまちゃんのおはなしをよんで、えきちょうさんになってみたいとおもいました。ぼくがなりたいのは、みんなをまもってあげることができるえきちょうさんです。みんなをみまもっていたたまちゃんとはすこしちがいます。ぼくは、あぶないことがあったら、そのひとをたすけてあげるえきちょうさんになりたいです。でんしゃでけがをしないようにして、みんなをしあわせにしたいです。たまちゃんとやることはちがいますが、すこしにています。

たまちゃんはおしごとをしてめだるをもらいました。うれしそうにしていました。ぼくは、めだるはほしくはありません。おしごとができたらいいです。

『夢』きらきら賞(奨励賞)

日方小学校 田岡 昇輝 (たおか しょうき)

絵本: 「はい」「いいえ」ほうこく

「はい」「いいえ」ほうこく

たおか しょうき

ぼくは、「はい」「いいえ」ほうこくという本を読みました。

「はい」のほうこくは、うれしいことや、いるもの、「いいえ」のほうこくは、いらないものをかいていました。おはなしのなかの「はい」は、おいしい食べものやがんじょうな家、うきうきのきもち、好きなことができるばしょとじかん、「いいえ」は、とげとげのことはやせんそうとかいてありました。

ぼくの「はい」のほうこくは、おとうさん、おかあさん、おにいちゃんといっしょにいることです。それから、友だちと学校でサッカーをすることです。

「いいえ」のほうこくは、まっくらなへやや、こうつうじこ、好きな友だちにきらわれることです。

ぼくは、せかいじゅうの「いいえ」のほうこくがなくなって、「はい」のほうこくでいっぱいになればいいなとおもいます。

ぼくの「はい」のほうこくもいっぱいにしていきたいです。

『夢』きらきら賞(奨励賞)

日方小学校 榎本 充希(えのもと みつき)

絵本: ねこのえきちょうさん たま

たまからにたまへ

えのもと みつき

わたしが知らないおはなしでした。

はじめにたまちゃんがえきちょうになったとき、たまちゃんがせかいではじめてのかわいいえきちょうでした。

たまちゃんが、まいにちあいさつをしてくれるので、うれしいとおもいます。

たまちゃんにあいにいくひとは、えがおがわいてくるとおもいます。

きしえきにいったことがあるけど、にたまちゃんが、すやすやきもちよくねているのでかわいいです。

たまは、いまもみんなのにんきものだなとおもいました。

たまのやさしさを、にたまにうけつがれまたつぎのじだいへ、そしてなんねんもうけつがれていくことでしょう。

にたまちゃんも、りっぱなえきちょうになることでしょうね。

『夢』きらきら賞(奨励賞)

中野上小学校 大瀬 あゆ(おおせ あゆ)

絵本: にぎやかもりのツリーハウス

みんなのとくいなこと

おおせ あゆ

わたしは、「にぎやかもりのつりいはうす」というほんをよみました。このほんをえらんだのは、どうぶつがいっぱいいてにぎやかでおもしろそうだったからです。

このほんは、ねずみくんがもりのなかまといっしょにつりいはうすをつくるおはなでした。

ぞうさんがおおきなきをはこんでいるところがすごかったです。ちからもちだなあとおもいました。

きつつきさんがくぎをうったり、ねこくんがつめでかんばんのもじをきれいにかいていました。みんなじぶんのとくいなことをして、わたしもなにかやってみたいです。

ねずみくんは、みんなのやくにたつことができたのかふあんそうだったけど、みんながありがとうといってくれて、うれしそうだったのでわたしもうれしくなりました。

みんなでちからをあわせてすごくおおきなつりいはうすができるしました。

わたしもみんなといっしょにあそんでみたいです。